



## 5 30 記念事業第1弾 創造の森で開町120年記念植樹祭

ふるさと公園内の創造の森で開町120年記念植樹祭が開催され、154人の町民が参加しました。(表紙)

この日は、(株)ニトリ北海道応援基金から100万円の寄付を受けて、イチヨウ50本、ヤマモミジ50本、アオダモ20本、オニグルミ10本など、全部で310本の苗木が用意されました。

参加者は、空知総合振興局森林室と指導林家の有馬権司さんから植え方を教わった後、それぞれ自分の好きな木を植えました。

新十津川町大和緑の少年団の松井悠華さん(新小4年)は、「サトウカエデとミズナラを植えました。苗木を一人で運ぶのは大変でした。大きくなって実がなるのが楽しみです」と話していました。

## 5 17 行政区の垣根を越えて

新十津川中学校前の道道に中央区と文京区のボランティア25人が集まり、美しい通路づくりに取り組みました。

行政区の枠組みを越えて行政提案事業に取り組み初めの試み。活動初日の17日は、雑草や枯れたツツジの根を取り除いたほか、ダリアの球根を植えて、植栽マスの整備に汗を流しました。

中央区の悪七廣雄区長は「子どもたちが毎日通る道路をきれいにしようと思い、始めました」と話していました。





## 5 30 小寺卓也のライド トーク&ワークショップ

図書館で写真家の小寺卓矢さんを招いて、ライドトーク&ワークショップが開催され、親子連れや小学生10人が参加しました。

ワークショップでは、子どもたちがデジタルカメラを使って「いのち」をテーマとした写真絵本作りにチャレンジしました。

小寺さんは「森に息づくいのちの繋がり」を撮影テーマとして北海道を拠点に活動しており「きれいだなと思ったとき、不思議だなと思ったとき、その心を大事にして」と子どもたちへ写真の撮り方をアドバイスしていました。

また、この日は小寺さんのドキュメンタリー番組の取材のため、テレビカメラも取材に訪れていました。

## 5 17 大空から見守ります

滝川市のスカイパークで、スカイパトロール事業の協力調印式が行われました。

この事業は、グライダーや航空機など30機を所有している(株)滝川スカイパーク振興協会が、飛行中に火災や交通事故の発見や、行方不明者の捜索に協力して、警察や行政と連携しながら安全で安心なまちづくりに貢献するものです。

調印式では、同協会の中島会長をはじめ、植田町長、田村滝川市長、見野滝川警察署長が協定書に署名しました。



## 5 29 田植えの体験学習

NPO法人北海道田園生態系保全機構が主催する田んぼの学校が、幌加の稲村久雄さんの圃場で開かれ、本町や滝川市、札幌市の親子50人が参加しました。

国道沿いの1反<sup>たん</sup>(約10アール)の田んぼに、大人も子どもも裸足で入り、ゆめびりかの苗を1本ずつ植えました。

金見峻汰郎くん(4歳)は「難しかったけど、楽しかった。泥の中は冷たくなかった」と、初めての田植え経験を振り返っていました。

